

かすがい 市議会 だより



第102号

2019年2月
(年5回発行予定)

もくじ

- ・一般議案など……………2
- ・請願審議など……………3
- ・一般質問……………4

文化フォーラム春日井

新しい芸術文化づくりの拠点となるホールやギャラリー等と、情報と知的交流の拠点となる図書館からなる複合施設です。学び・創造・発表・鑑賞の場として広く活用され、屋上には庭園（スカイフォーラム）があります。

平成30年 第6回定例会（11月29日～12月17日）

今定例会には、一般会計補正予算案1件、条例案8件、一般議案4件、報告3件、人事案2件、意見書案2件が提出され、それぞれ原案のとおり可決、同意、了承されました。また、請願2件が提出され、1件が採択されました。

12月12日、13日には、20人の議員が一般質問を行い、市の考えをたどしました。

平成30年度 補正予算案(1件)

◆一般会計補正予算

【原案可決：全会一致】

歳入歳出予算にそれぞれ2億3,232万5,000円を増額し、総額を1,014億4,263万6,000円とするものです。

【歳入】財源内訳は国庫支出金4,724万7,000円、繰越金1億1,689万6,000円、諸収入1,568万2,000円、市債5,250万円です。

【歳出】総務費は戸籍住民基本台帳費として一般旅券発給事業1,200万円、民生費は社会福祉費として障がい者福祉施設整備補助、老人福祉施設整備等補助など1,748万1,000円、児童福祉費として児童手当国庫負担金等返還金、私立保育園施設整備等補助など1億3,184万4,000円、土木費は都市計画費として自転車駐車場整備7,100万円です。

◆条例案(8件)

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

国家公務員の給与改定に準じ、職員の給与を改定するためのもの

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：賛成多数】

市長等の期末手当を改定するためのもの

◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：賛成多数】

議員の期末手当を改定するためのもの

◆一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

国家公務員の給与改定に準じ、一般職の任期付職員の給与を改定するためのもの

◆社会福祉施設条例及び福祉作業所条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

希望の家及び福祉作業所において共生型通所介護等を実施するためのもの

- 1 希望の家において共生型通所介護及び共生型地域密着型通所介護を行うこととするもの
- 2 福祉作業所において共生型通所介護を行うこととするもの
- 3 施行日 平成31年4月1日



◆子ども福祉手当条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

子ども福祉手当の支給を年6回とする等のためのもの

- 子ども福祉手当の支給を年6回(現行3回/年)とするもの
- 受給者の前年所得による支給制限の期間を11月から翌年10月まで(現行8月から翌年7月まで)とするもの
- 施行日 2 平成31年1月1日
1 平成31年9月1日

◆病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決：全会一致】

診療科目名を変更する等のためのもの

- 神経内科の名称を脳神経内科とするもの
- 新たに薬剤局及び技術局を設置し、所掌事務を次のとおりとするもの

薬剤局	(1) 医学及び薬学等医療情報に関すること (2) 調剤、製剤等薬剤に関すること
技術局	(1) リハビリテーション、臨床検査及び病理に関すること (2) 診療放射線、臨床工学その他医療技術に関すること

- 施行日 平成31年4月1日

◆自転車等駐車場条例の一部を改正する条例

【原案可決：賛成多数】

新たに春日井駅北口自転車等駐車場を設ける等のためのもの

- 次のとおり新たに自転車等駐車場を設置するもの

区分	名称	位置
有料駐車場	春日井駅北口自転車等駐車場	春日井市割塚町226番地
無料駐車場	神領駅東第3自転車駐車場	春日井市神領町3丁目100番地24
	神領駅東第4自転車駐車場	春日井市神領町2丁目14番地5
	神領駅西自転車・バイク駐車場	春日井市堀ノ内町北1丁目817番地5
	神領駅南自転車駐車場	春日井市神領町2丁目9番地14

- 神領駅北第1自転車・バイク駐車場及び神領駅北第2自転車・バイク駐車場を廃止するもの
- 春日井駅北口自転車等駐車場の使用料を次のとおりとするもの

種別	区分	金額	
自転車	1回(24時間以内)	100円	
	1か月	一般	2,050円
		高校生以下	1,850円
	3か月	一般	6,150円
		高校生以下	5,550円
	6か月	一般	12,300円
高校生以下		11,100円	
原動機付自転車	1回(24時間以内)	150円	
	1か月	3,080円	
	3か月	9,240円	
	6か月	18,480円	
普通自動二輪車 (総排気量0.125リットル以下相当のものに限る。)	1回(24時間以内)	200円	
	1か月	3,600円	
	3か月	10,800円	
	6か月	21,600円	

- 施行日 平成31年4月1日

■一般議案(4件)

◆勝川駅前公営施設の指定管理者の指定

【原案可決：賛成多数】

- 公の施設の名称 勝川駅前公営施設
- 指定管理者となる団体
春日井市鳥居松町5丁目44番地
勝川開発株式会社
- 指定の期間 平成31年4月1日から5年間

◆子どもの家の指定管理者の指定 【原案可決：全会一致】

- 公の施設の名称及び指定管理者となる団体

公の施設の名称	指定管理者となる団体
鷹来子どもの家	春日井市浅山町1丁目2番61号 社会福祉法人春日井市社会福祉協議会
山王子どもの家	
西山子どもの家	
牛山子どもの家	春日井市宮町3丁目8番地2 特定非営利活動法人学童保育所 イルカクラブ

- 指定の期間 平成31年4月1日から5年間

◆春日井駅北口自転車等駐車場の指定管理者の指定

【原案可決：全会一致】

- 公の施設の名称 春日井駅北口自転車等駐車場
- 指定管理者となる団体
東京都中央区日本橋本石町4丁目6番7号
センターサイクル春日井連合体
- 指定の期間 平成31年4月1日から3年間

◆損害賠償の額の決定

【原案可決：全会一致】

- 損害賠償の額 353万3,820円
- 事故の概要
平成30年2月1日 下市場町地内における交通事故

請願審議(2件)

2件の請願が提出され、委員会に付託し審査しました。その後、本会議で委員長の審査結果報告があり、採決の結果は次のとおりです。

◆青少年健全育成基本法制定を求める意見書採択の請願書 **【採択】**

◆「保育を必要とするすべての家庭が保育園を利用でき、子どもたちが安心安全な環境で継続して発達を保障される保育施策」を求める請願書 **【不採択】**

議員提出議案(2件)

意見書2件を議員提案し、原案のとおり可決した後、関係機関へ提出しました。内容は次のとおりです。

◆認知症施策の推進を求める意見書 **【原案可決：全会一致】**

世界に類例を見ないスピードで高齢化が進む我が国において、認知症の人は年々増え続けている。2015年に推計で約525万人であったものが、2025年には推計で700万人を突破すると見込まれている。認知症は、今や誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得るため、認知症施策の推進は極めて重要である。

また、認知症施策の推進に当たっては、新オレンジプランに基づき進められているが、認知症と診断されても、尊厳をもって生きることができるとともに、社会の実現をめざし、当事者の意思を大切に、家族等も寄り添っていく姿勢で臨むことが重要であるとともに、「若年性認知症」など、これまで十分に組み込まれてこなかった課題にも踏み込んで行く必要がある。さらに、認知症施策に関する課題は、今や医療・介護だけでなく、地域づくりから生活支援、教育に至るまで多岐にわたっている。よって政府におかれては、認知症施策のさらなる充実、加速化を目指し、根拠法となる基本法の制定も視野に入れ、各種施策に取り組むことを強く求める。

◆青少年健全育成基本法の制定を求める意見書 **【原案可決：賛成多数】**

次代を担う青少年の健全な育成は、我が国の将来の発展にとって「不可欠の礎」であり、これまでも我が国においては、様々な分野において取り組みが進められてきた。

近年、青少年をとりまく環境は、核家族化の進展やライフスタイルの変化のほか、情報化の進展などの激しい社会変化にさらされ、青少年の「規範意識の低下」、「問題行動の多様化」、「人間関係づくり能力の低下」、「親子関係の希薄化」などが指摘されている。青少年の健全育成に関する諸問題を国民的な課題と捉え、次代を担う青少年の育成が、国始め関係機関等の責務であることを明確にした「青少年健全育成基本法」の制定を関係機関及び関係者に強く求める。

人事案(2件)

任期満了に伴い、監査委員に森鋭一氏の選任に同意しました。また、任期満了に伴い、人権擁護委員に小林奈津子氏の推薦を了承しました。

委員会開催状況

◆文教経済委員会（11月13日）

報告事項

- 1 第2次春日井市多文化共生プラン（中間案）について
- 2 第3次春日井市DV対策基本計画（中間案）について
- 3 朝宮公園整備設計について（中間報告）
- 4 第3次春日井市産業振興アクションプラン（案）について
- 5 平成30年度教育に関する事務の点検及び評価報告書について

◆厚生委員会（11月14日）

報告事項

- 1 かすがい健康計画2023〔改定版〕（中間案）について
- 2 春日井市自殺対策計画（中間案）について
- 3 春日井市地球温暖化対策実行計画〔改定版〕（中間案）について
- 4 春日井市ごみ処理基本計画〔改定版〕（中間案）について
- 5 春日井市災害廃棄物処理計画（中間案）について

◆建設委員会（11月15日）

報告事項

- 1 公共交通整備に係る要望活動報告について
- 2 高蔵寺リ・ニュータウン計画の一部改定中間案について
- 3 地蔵ヶ池公園調整池整備事業の進捗状況について

◆総務委員会（11月16日）

報告事項

- 1 平成30年度人事院勧告の概要について
- 2 春日井市国民保護計画の変更について

◆文教経済委員会（12月5日）付託議案2件

◆厚生委員会（12月6日）付託議案5件、請願2件

◆建設委員会（12月7日）付託議案4件

◆総務委員会（12月10日）付託議案5件

一般質問

市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、20人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、38項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。
(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



1 児童数増加に伴う小野小学校の環境整備について

質問者 はせ かずや

質問 松河戸土地区画整理事業、工場跡地建設の大型マンション等の影響で児童数急増の小野小学校。現在仮設校舎は9クラスだが、2020年春建設予定の1棟を含むクラス編成はどのようにするのか、職員室・なかよし教室の維持やこどもの家の定員・席上揮毫大会の運営等への対応、急激な周辺開発に伴う通学路の安全対策を要望するが市の考え方を問う。

担当 教育総務課・学校教育課

【答弁】2020年度は4クラス増を見込んでいます。また、職員室、なかよし教室、揮毫大会については現状の施設設備で対応可能であり、子どもの家については民間児童クラブとあわせた受入体制で対応可能であると考えています。学校の取り組みとして、日頃からの交通安全指導に加え、教員、児童が一緒となり毎年点検し、安全な通学路を設定しています。さらに、地域の方と連携を図り、登下校時の児童の交通安全確保に努めています。



2 災害時に停電した場合の避難所及び公共施設における非常電源の整備について

質問者 末永 けい

質問 ①今年9月の台風21号、24号で停電した戸数と停電時間②停電した公共施設と避難所数③エレベーター閉じ込め事故を防止する停電時自動着床装置を備えていない公共施設の今後の対応④過去の災害では予め設置された太陽光発電設備と蓄電池等が避難者の生活支援や復旧活動に寄与した。長期停電に備え、避難所等において自家発電設備を整備する方針を問う。

担当 市民安全課

【答弁】①台風21号は延べ約14,900戸、最長26時間24分、24号は延べ約4,200戸、最長13時間12分停電しました。②台風21号は13施設、うち避難所が4施設、24号は6施設、うち避難所が3施設停電しました。③2020年度完了を目標に、対応機への取り換えなどを既に進めています。④避難所には可搬式の非常用ガス発電機の備蓄を進めていますが、大容量の自家発電設備の整備については、各施設別に必要性を判断していきます。

その他の質問事項
 ・デマンド交通を含めた新たな地域公共交通網の形成について
 ・図書館に隣接するスカイフォーラム（屋上庭園）のリニューアルについて

3 下水道整備について

質問者 あさの 登

質問 本市の下水道整備は約20年前から建設速度が下がった。現在普及率は約68%。愛知県平均や全国平均(78%)を10ポイントも下回っている。①整備速度を下げた理由と、施設整備全体の目標時期を問う。②全体の施設整備を早めるため「公共下水道30年計画」を提案する。今後30年間、年25億円を投じて未整備の公共下水道施設を完成させるもので本市の考えを問う。

担当 上下水道経営課

【答弁】①平成8年度に公共下水道事業債残高が600億円を超え、償還が経営の負担となり、その削減を図るため事業費の抑制を行い整備速度を下げたものです。整備全体の目標時期は、財政状況や社会経済状況などにより事業の進捗が変動するため、明確にはできません。②財政的な問題や職員の確保、今後の経営状況及び社会経済状況などを踏まえ効率的に整備を進めるため、30年という期間を定め整備をする考えはありません。

その他の質問事項
 ・地域の下水道について

4 庁舎の案内表示について

質問者 いしとび 厚治

質問 市役所庁舎を初めて訪れた方が、庁舎に入ってから帰るまで、迷わずに、自身で行動し、分かりやすいと感じて頂くために、案内表示はとても重要な役目を果たしています。高齢化や外国人増加への対応として、表示方法の変更やライトアップほか、総合案内における翻訳機での対応も有効だと考える。市役所庁舎の案内表示の今後の方向性について問う。

担当 総務課

【答弁】各所に配置している案内表示をこれまで以上に分かりやすく、かつ、視認性をより高めていくため、表題を目立つものにし、文字や記号を大きく際立たせるなど、改善を進めています。照明によるライトアップは、案内表示の存在に気付かせることに加え、高齢者にとっても明るく見やすいものになるので、効果が期待できる場所に導入していきます。翻訳機については、機能や使いやすさを含め、有効性について調査・研究していきます。



5 名古屋空港について

質問者 丹羽 一正

質問 飛行場周辺対策市民協議会は昭和42年、度重なる飛行機事故により、市民・市議会・市の三者が一体となって飛行場撤去を目的に結成され、その後、協議会のあり方を見直し、安全飛行の確保と周辺環境対策の推進を目的に運動している。市民協議会の現状の活動内容と今後の方針について、また、空港周辺の移転補償跡地の今後の活用方法について問う。

担当 環境政策課

【答弁】市民協議会では、毎年、国や県など関係機関に対し、安全対策に係る要望等を行っており、今後も引き続き、航空機事故に対する不安の解消、安全な生活環境の確保、騒音等障害の緩和、周辺地域の環境整備の推進を目的として活動していきます。移転補償跡地は国からの要請により返還を進めていますが、必要な土地の継続利用を国に求めていくとともに、返還可能な場所について、地域の皆様と調整を図っていきます。

その他の 城北線について
質問事項 二子山公園について

6 軽度認知障がい（MC I）について

質問者 伊藤 あんな

質問 軽度認知障がいは認知症の前の段階とされ、認知機能の低下はみられるが日常生活に困難をきたす程度ではない状態で、この時期に適切な予防・治療を行うことで認知症の症状が現れずに済むケースもあるとされている。そのため早期発見、早期治療が重要と考えるが①本市の状況②認知機能検査の導入について③今後の取組みについて問う。

担当 地域福祉課

【答弁】①軽度認知障がいの疑いのある者2,712人を把握しています。認知症チェックリストの配布、コグニサイズや予防講座の実施、認知症初期集中支援チームの設置などを行っています。②保健師の関わり方などの課題があるため、導入や運営に要する費用や効果を検証し、調査・研究を行ってまいります。③高齢者サロンなどの活動の場で、保健師などが認知症チェックリストを活用し、必要に応じて適切な機関につなげます。



7 色覚に特性を持つ児童・生徒への対応について

質問者 鈴木 秀尚

質問 学校での色覚検査が任意となり、学校での検査を行わなくなって以来、就職や進学の際に、初めて自身の色覚特性に気づき、進路を断念せざるを得ないというケースが出ている。平成28年度から再開された検査の受診率も年々減少傾向だが、検査の普及のため、就学時検診での検査や、もっと保護者への周知をするべきと考えるが、市の考え方について問う。

担当 学校教育課

【答弁】小中学校が行う色覚検査の現状は、法律改正に伴い、平成15年度から健康診断の検査項目から除外され、任意の検査となっています。色覚検査の普及については、検査項目から除外された経緯を踏まえ、慎重に対応すべきと考えています。



8 がん患者に対するアピアランスケアについて

質問者 田口 よしこ

質問 がん治療は脱毛や肌のトラブル、爪の変色といった副作用を伴いやすく、外見の変化の悩みに対応し患者さんが自分らしく生活の質を保ちながら過ごすためのアピアランスケアの重要性は高まっています。第3期がん対策推進基本計画により、がんとの共生社会連携に基づくがん対策・がん患者支援があります。春日井市民病院の現状と今後の対応について問う。

担当 市民病院医事課

【答弁】市民病院では、がんに関する専門の知識や技術を有する認定看護師や専門看護師等が中心となって、がん治療に伴う身体の一部喪失、脱毛などの変化に対して、治療の進捗状況や患者の状態を見ながら、ウィッグの選び方やメイクの方法などのアドバイスや支援を行っています。今後は、商品等の情報を収集するとともに、職員の知識や技術の向上を図るための研修会への派遣や、ホームページやチラシなどによりアピアランスケアの周知に努めていきます。

その他の 死亡届に伴う手続きについて
質問事項

9 リニア中央新幹線工事について

質問者 伊藤 建治

質問 神領非常口の工事が始まる。土砂ダンプが最大で、一日往復200台、月一回程度行うコンクリート打設時には、生コン車が一日往復800台通行する。説明会で示された通行ルート以外に、別のルートを運行することがあるとのこと。①住宅街を通行しないように、強く要請して欲しい。②生コンの打設日程を、ホームページで知らせて欲しい。

担当 都市政策課

【答弁】①市は、JR東海が市内で進めるリニア中央新幹線工事について、事前説明のないルートは通行しないと認識しており、今後、ルート変更があった場合は、これまで同様に説明会等を要請していきます。②市は、JR東海が工程の周知を行うべきと考えています。現在、各工事現場入口の掲示板においてその周知が行われていますが、ホームページでの周知等も含め、これまで同様に広く市民の理解を得ながら工事が進められるよう要請します。

その他の 学校給食、食育について
質問事項 学校における防災頭巾の普及について
外国人技能実習生について
太陽光発電設備の設置について

10 ドローンの活用について

質問者 佐々木 けいすけ

質問 ドローンの活用は幅広い分野での利用が期待されています。①一般的に平時におけるドローンの活用について、②防災面でのドローンの活用は、情報収集・伝達に非常に有効で、孤立した地域で様々な活用方法が考えられます。災害時におけるドローンの活用について、③ドローン操縦技術、知識を学び検定評価を受けた先との災害時応援協定について問う。

担当 市民安全課

【答弁】①ドローンについては有用性を認識しており、中部大学との共同研究の中で活用しています。安全性、信頼性などの課題を検証し、様々な分野での活用について調査・研究していきます。②捜索・救助の支援や被害状況の把握の迅速化、救援物資の搬送など様々な場面での活用が期待できると考えています。③業務の内容を始め、要請時に対応が可能か、人員や機材の確保は十分かなどを総合的に判断し、検討していきます。



11 ハートフルパーキング事業について

質問者 石原 めいこ

質問 平成29年に地域包括ケア団地モデル事業として制度を開始した当時からと全市的に実施している現在までの利用状況（①登録駐車場の台数②登録利用事業者数③利用件数）、全市的な事業の普及に向けて実施してきたこれまでの取組内容及び今後の超高齢社会を見据えて需要が高まると思われる事業の拡充について問う。

担当 地域福祉課

【答弁】利用状況は、制度開始時は①125台②84件③月平均21件、本年11月末現在は①174台②91件③月平均22件となっています。事業普及の取り組みとしては、広報やホームページへの掲載、商工会議所等の会員への協力依頼、民生委員や老人クラブ等への説明会、チラシの個別配布などを行いました。今後は、駐車場の必要性が高い地域に対し、事業の必要性や認識を高める方策を検討するとともに、事業者との連携を更に密にし、拡充に努めます。



12 完食指導と食育について

質問者 田中 千幸

質問 最近の新聞で、学校給食の強制的な完食指導をきっかけに不登校や体調不良、また人前での食事ができなくなった人の報道があった。ネット検索してみると、相当以前から様々な意見が見られた。本市の完食指導の現状と食育の基本的な考え方について問う。そして、給食を残さず食べる取り組みについて、またどうしても食べ切れないときの対応について問う。

担当 学校給食課

【答弁】完食を強制するような指導は行っておらず、児童生徒が残さず食べる大切さを自発的に考えられるよう、各学年の発達段階に応じた食育授業や、給食時間に献立で使用している食材が、成長期の体にどのような役割を果たしているか等の指導を実施しています。また、学校給食は学齢に応じた平均摂取量が示されていますが、食べられる量に個人差があるため、あらかじめ食べ切れない分を減らすなど弾力的な対応を実施しています。



13 高齢化率の高いニュータウンの交通整備について

質問者 加藤 たかあき

質問 ニュータウンの高齢化が進むにつれ、車を運転することが困難となり、買い物や通院に不便を感じる方が増えております。自動運転実証実験を含め、相乗りタクシーやボランティア輸送が定着していけば、交通弱者への足の確保として、問題の軽減が期待されます。今後のニュータウンにおける交通整備の取組みについて問う。

担当 ニュータウン創生課

【答弁】実証実験により検討を重ね、来年度以降、実際にサービスを事業化した際のイニシャル、ランニング等の必要コストなどの検討を2020年の社会実装に向け、行いたいと考えています。また、他の地域への展開について、市全体の交通の検討を組織横断的に取り組んでおり、今後、議論を深める中で、この実験も踏まえ、ニュータウンにおける社会実装や他地域への展開のあり方についても検討します。

その他の質問事項 •高座線（高蔵寺駅前から玉野台口）道路について

14 マラソン大会の実施について

質問者 熊野 義樹

質問 柏原中学校を発着点として始まった現状の新春春日井マラソンも37回目を迎え多くの参加者がエントリーして下さり盛況に行われている。市制80周年記念事業として高蔵寺ニュータウン地域において市単独でなく企業・学校、各諸団体等の協力のもとハーフマラソン大会の開催ができないのかを問う。

担当 スポーツ課

【答弁】市制80周年記念事業として高蔵寺ニュータウン地区でのハーフマラソン大会の開催については、コースの設定や広範囲・長時間にわたる交通規制、沿道警備など多くの諸課題が考えられ、現時点では難しいと考えています。しかしながら、ハーフマラソン大会の開催を望む声や新春春日井マラソン大会について様々なご意見もいただいておりますので、より魅力的なマラソン大会の開催について研究していきます。



15 幹線道路等の区画線の維持管理について

質問者 鬼頭 宏明

質問 多発する交通事故の防止には、良好な道路環境の維持が重要であり、センターラインや外側線等の白線を道路に明示することで安全性が向上すると考える。国、県や公安委員会と連携し、それぞれが適切な道路環境の維持に努める必要があるが、市道の主要幹線における最近の修繕実績と、今後の整備方針等について問う。

担当 道路課

【答弁】 主要幹線における最近の区画線の修繕実績については、平成28年度には6,788.6m、平成29年度には7,818.4mを施工しています。今後の整備方針については、5年毎に作成する舗装修繕計画に基づく再舗装時に併せて行うほか、日々のパトロールにより確認された薄くなっている箇所や地元より要望があった箇所について、必要に応じ対応していきます。



16 小中学校の渡り廊下の耐震化について

質問者 原田 祐治

質問 小中学校の耐震化について、文部科学省の基準では延べ床面積200㎡以上のものでのみを対象としている。このため、渡り廊下は事実上この対象となっていない。熊本や大阪の地震では、耐震化されていない渡り廊下が損傷している。危険性の高い、2階以上で200㎡未満の渡り廊下の数と耐震診断の状況について。これらについて耐震診断を実施する考えについて問う。

担当 教育総務課

【答弁】 床面積200㎡未満の建物のうち、2階建て以上の開放型渡り廊下については、小学校17棟及び中学校5棟の計22棟です。これらの耐震診断については、文部科学省が検討している必要な措置の動向を注視しているところ、現段階で文部科学省の考え方が示されていないため、耐震診断は実施していません。

その他の質問事項

- 65歳になった障がい者の、介護保険への移行について
- 特別支援教育支援員について
- 就学援助について

17 ごみ処理の現状と今後の取り組みについて

質問者 小原 はじめ

質問 ごみステーション管理問題、ごみの分別や出し方に対するマナー違反等地域によっては現在の収集方法に課題が生じてきている。「ごみ処理基本計画」中間案では、排出者責任を明確化する一つの手法として戸別収集の検討を行うとあるが、他市の状況、実施している自治体での効果、モデル地区を指定した戸別収集の実施調査について問う。

担当 ごみ減量推進課

【答弁】 県内で戸別収集を実施している自治体は、54市町村中、名古屋市、知立市、清須市、長久手市、豊山町及び大口町の4市2町で、効果は、ごみの出し方のマナー向上やごみの減量が図られたとのことです。戸別収集の実施には、収集・運搬費用の増加や収集体制、地区の見直しなど様々な課題がありますが、実施に向けた方針が決まった際には、モデル地区を選定し、試行的に実施していくことも必要と考えています。

その他の質問事項

- 市民協働の推進について

18 小中学校のエアコンに関わる問題について

質問者 宮地 ゆたか

質問 今年の夏、普通教室へのエアコン設置が話題になったが春日井は完了していました。子ども達に様子を聞くと、先生がスイッチ押すので朝早くから教室にいる先生だと冷房ついているからラッキー、体育館にも冷房あるとうれしいなと言っていました。子どもが汗だくで教室に入った時にエアコンが動いている様にする、体育館へのエアコン設置の考えについて問う。

担当 教育総務課

【答弁】 エアコンの運用は、春日井市立小・中学校空調設備運用指針において規定しており、使用時間は活動時間外でも児童生徒の健康上必要であると学校長が判断した場合はエアコンの使用を行うことができることとしています。体育館へのエアコン設置は、子どもたちが日常使う施設であり、避難所として指定されていることから必要と考えており、簡易式のエアコン、いわゆる「スポットエアコン」の導入を既に検討しています。

その他の質問事項

- 選挙での投票権を保障する問題について
- ごみステーションに関わる問題について

19 高森台団地の再生事業について

質問者 内田 謙

質問 UR都市機構は、高森台団地の3分の1を解体し、跡地の再利用を図ろうとしている。団地再生事業区域の居住者の移転については計画どおりすすんでいる。しかし、跡地の活用策については、具体的な姿が見えないというのが率直な思いだ。春日井市とUR都市機構が緊密に連携して推進を図ることが不可欠だ。計画がどこまで進捗しているか問う。

担当 ニュータウン創生課

【答弁】 UR都市機構とは、将来の土地利用や居住者の退去後の安全対策等の協議を実施していますが、計画についてはUR都市機構において検討しているものの、外部に相談・公表できる状況にはまだ至っていないと聞いています。今後も継続して協議を行い、高蔵寺ニュータウン全体の魅力の向上に寄与するよう、周辺地域も含めたスマートウェルネスの実現に努めます。

その他の質問事項

- 市営住宅について

20 航空自衛隊小牧基地が実施するブルーインパルスの展示飛行について

質問者 長谷川 達也

質問 ブルーインパルスの展示飛行は国民的行事や航空祭で住宅密集地上空でも実績がありファンも多い。また危険性は他の航空機と比べ問題なく基地機能強化の心配もない。よって地方公共団体の一部住民感情に基づく反対は不適切で、高い集客性を鑑みた周辺地域や市政の発展及び自衛官募集等現行必要な防衛施策に活かす共存共栄を図るべきと考えるが見解を問う。

担当 環境政策課

【答弁】 ブルーインパルスの展示飛行については、「空港周辺は、住宅密集地であり、航空機事故など危険性回避の観点から、あえて展示飛行を名古屋空港で行う必要はない。」ことを理由に、展示飛行を行わないよう防衛省を始めとした関係機関に要望しています。現状において、市と小牧基地とは良好な関係を保っており、今後においても、共存共栄の関係を築きながら飛行場周辺の環境改善を図っていきます。



出典：航空自衛隊（JASDF）オフィシャルサイト

傍聴のお知らせ

市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。平成30年は、本会議には延べ91人、委員会には延べ16人の方にお越しいただきました。

皆さんもぜひ、議会の傍聴にお越しください。

また、お子様連れの方も含め、より多くの方々に議会を知っていただくため、本会議の開会中は市役所1階市民ホール及び5階議場傍聴席入口横に、本会議の様子をご覧いただくことができるテレビを設置しています。

【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は市役所5階の議場傍聴席入口にお越しください。定員は88人で、うち車いす席は6席です。

【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前9時に開会します。当日の午前8時30分から午前8時45分までに市役所3階議会事務局にお越しください。定員は5人で定員を超えた場合は抽選により決定します。

平成31年第1回定例会予定

2月22日(金) 10:00～	本会議 (市政方針説明)
2月26日(火) 10:00～	本会議 (市政方針に対する質問)
2月27日(水) 10:00～	本会議 (市政方針に対する質問) (提案理由説明)
2月28日(木) 10:00～	本会議 (提案理由説明)
3月4日(月) 10:00～	本会議 (質疑、委員会付託)
3月7日(木) 9:00～	文教経済委員会
3月8日(金) 9:00～	厚生委員会
3月11日(月) 9:00～	建設委員会
3月12日(火) 9:00～	総務委員会
3月14日(木) 10:00～	本会議 (一般質問)
3月15日(金) 10:00～	本会議 (一般質問)
3月19日(火) 10:00～	本会議 (採決)

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

市議会のホームページ

インターネットで次のような情報をご覧いただくことができます。

○市議会議員名簿 ○提出議案・請願一覧、議案等の表決結果

○一般質問事項一覧 ○市議会だより ○市議会の予定 ○本会議・常任委員会の議事録 ○傍聴について など

【アドレス】

<http://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>
春日井市のホームページからアクセスしてください。



平成31年第1回定例会から、インターネット議会議中継（本会議の生中継）が始まります。市議会のホームページより、ぜひご覧ください。

編集後記

大阪万博が2025年に開催されることになりました。2020年の東京オリンピックに加えて、その経済波及効果が大いに期待されます。

万博（国際博覧会）とは、時代の最先端をいく世界各国の科学技術の粋を一堂に集めて展示し、各国のお国ぶりを紹介する展示や催物により国際交流を深めようとする世界最大の博覧会です。

1970年の大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」、そして2025年は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、世界中の最新技術やアイデアを持ち寄り、健康で豊かに生きるための新たな方法を探る「実験場」と位置づけられています。

春日井市も健康で豊かなまちづくりに努めて参りたいと思います。

編集委員一同

12月3日、12月17日、1月4日に議会報編集委員会を開催しました。

■視覚障がいのある方に、本紙を音読した「声のかすがい市議会だより」(カセットテープ又はCD)を郵送します。事前に登録が必要ですので、ご希望の方はご連絡ください。

■問い合わせ 議事課 (☎85-6492)